

DensiEye™

使用説明書



目次

1.	概要	3
1.1.	はじめに.....	3
1.2.	安全性について.....	4
1.3.	パッケージ内容.....	5
1.4.	パッケージおよび輸送.....	5
2.	操作	6
2.1.	各部の構成.....	6
2.2.	測定ヘッドの解除とロック.....	6
2.2.1.	測定ヘッドの解除.....	6
2.2.2.	測定ヘッドのロック.....	6
2.3.	工場出荷時の設定.....	7
2.4.	標準ボタン.....	8
2.5.	特殊ボタンおよびボタンの組み合わせ.....	8
2.6.	アイコンおよびその機能.....	9
2.7.	表示画面および Pass/Fail 表示.....	10
2.7.1.	表示画面のレイアウト.....	10
2.7.2.	メッセージボックス.....	10
2.7.3.	Pass/Fail 表示.....	10
2.7.4.	Pass/Fail 情報.....	11
2.8.	機能の選択.....	11
2.9.	アイコンの選択.....	11
2.10.	位置決めおよび測定.....	11
3.	測定機能	12
3.1.	自動モード.....	12
3.2.	濃度.....	14
3.2.1.	濃度 (用紙).....	14
3.2.2.	濃度 (絶対).....	15
3.3.	ドットゲイン.....	16
3.4.	トラッピング.....	17
3.5.	グレイバランス.....	18
3.5.1.	グレイバランス (用紙).....	18
3.5.2.	グレイバランス (絶対).....	19
3.6.	網点面積.....	20
3.7.	印刷特性曲線.....	21
4.	基準値	22
4.1.	基準値セットの選択.....	22
4.2.	ベタ基準値.....	23
4.2.1.	ベタ基準値の測定 (用紙).....	23
4.2.2.	ベタ基準値および許容値の編集 (用紙).....	23
4.2.3.	ベタ基準値の測定 (絶対).....	24
4.2.4.	ベタ基準値および許容値の編集 (絶対).....	24
4.3.	網点およびドットゲイン.....	25
4.4.	グレイバランス.....	26
4.4.1.	グレイバランス基準値の測定 (用紙).....	26
4.4.2.	グレイバランスの基準値と許容値の編集 (用紙).....	27
4.4.3.	グレイバランス基準値の測定 (絶対).....	27
4.4.4.	グレイバランスの基準値と許容値の編集 (絶対).....	28
5.	キャリブレーション	29
5.1.	キャリブレーション (紙白基準).....	29
5.1.1.	紙白基準の選択.....	29

5.1.2.	キャリブレーション(用紙).....	30
5.1.3.	キャリブレーションの確認(用紙).....	30
5.2.	キャリブレーション(絶対白色基準).....	31
5.2.1.	絶対白色基準の選択.....	31
5.2.2.	キャリブレーション(絶対).....	32
5.2.3.	キャリブレーションの確認(絶対).....	32
5.3.	濃度キャリブレーション基準値.....	33
6.	設定.....	34
6.1.	機能の設定.....	34
6.1.1.	Pass/Fail 表示.....	34
6.1.2.	白色基準.....	35
6.1.3.	網点段階.....	36
6.1.4.	小数桁.....	36
6.2.	装置の設定.....	37
6.2.1.	表示の回転.....	37
6.2.2.	装置の種類.....	37
6.2.3.	言語.....	38
7.	USB インターフェイス.....	39
7.1.	USB ドライバのインストール.....	39
7.2.	USB インターフェイスのプロトコル.....	39
8.	DensiEye 100 から 700 へのアップグレード.....	40
9.	メンテナンスとお手入れ.....	41
9.1.	リセット.....	41
9.2.	完全リセット.....	41
9.3.	装置の種類についての情報.....	42
9.4.	バッテリー交換.....	43
9.5.	ファームウェアのアップグレード.....	44
9.6.	保証登録.....	45
9.7.	証明書の更新.....	45
9.8.	サービス.....	46
10.	仕様.....	47
10.1.	機能.....	47
10.2.	技術仕様.....	48

1. 概要

1.1. はじめに

X-Rite 商品を利用される方々へ

この度は X-Rite の反射濃度計 DensiEye をご購入頂き、誠に有り難うございます。

本製品は、使いやすいグラフィカルユーザーインターフェイス、高レベルの自動化、および高精度の測定を実現した他に類のないユニットです。

この取扱説明書では、DensiEye 100 および 700 の全機能を手順を追って詳しく説明します。お急ぎの場合は、『クイックスタートガイド』を参照して頂きますと短時間で本製品の操作が開始できます。

本製品に関するご意見または改善する点にお気づきになりましたら、お客様が購入になった販売代理店またはインターネット(www.xrite.com)を通じてお知らせ下さい。

X-Rite チーム一同

1.2. 安全性について



X-Rite DensiEye を、爆発の危険性のある場所で使用しないで下さい。



DensiEye を強い電磁場に近づけないで下さい。

DensiEye は、周辺温度 10° C/50° F~40° F/104° F、相対空気湿度 20~80% (非結露)の環境のみで使用して下さい。

DensiEye は、周辺温度-20° C/-4° F~70° C/158° F、相対空気湿度 5~90% (非結露)の環境のみで使用して下さい。

DensiEye を直射日光に当てないで下さい。

DensiEye を化学薬品、腐食性蒸気、強度の振動、他の装置の影響から保護して下さい。

DensiEye を輸送する場合は、常に購入時のパッケージに入れて下さい。

DensiEye を開けないで下さい。装置を許可なく開けた場合は、その時点で品質保証の対象外になります。

DensiEye には、X-Rite 純正の付属品およびパーツのみを使用して下さい。



DensiEye は、訓練を受けたユーザーのみが使用して下さい。

測定対象となるサンプルは、安定した場所に置いて下さい。

プラスチック製の装置ケースのクリーニングは、湿らせた布および少量の石鹼で行なって下さい。

バッテリーを漏電させないで下さい。

バッテリーは常に2つを同時交換して下さい。

バッテリーは規制に従って廃棄して下さい。

1.3. パッケージ内容

項目	商品名および付属品名
1	DensiEye
2	キャリブレーションカード
3	USB ケーブル
4	クイックスタートガイド
5	製品保証書
6	登録カード
7	操作手順およびソフトウェアを収録した CD
8	装置ケース

1.4. パッケージおよび輸送



DensiEye を輸送する場合は、常に購入時のパッケージに入れて下さい。

2. 操作

2.1. 各部の構成



2.2. 測定ヘッドの解除とロック

2.2.1. 測定ヘッドの解除

- 測定ヘッドを解除するには、測定ヘッド左側にあるロックボタンを向こう側に押します。
- 装置を開くと、前回に基準値として選択された画面がメインメニューに表示されます。
- 表示画面は約 30 秒後にオフになります。
- DensiEye を再びオンにするには、いずれかのボタンを押します。




2.2.2. 測定ヘッドのロック

- DensiEye を閉じ、測定ヘッド左側にあるロックボタンを手前に押します。
- 表示画面は約 30 秒後にオフになります。

2.3. 工場出荷時の設定

- 絶対/差異: 絶対
- 白色標準: 用紙
- 基準値セット: 1. 基準値セット
- フィルター/カラー選択: 自動
- Pass/Fail表示: オフ
- 印刷特性曲線の網点段階: 10%
- 濃度表示の小数桁: 2
- 言語: 英語
- 左利き/右利きユーザー向け操作: 右利き操作

2.4. 標準ボタン

ボタン	説明	機能	
	<Up>ボタン	カーソルを上げる	値を上げる
	<Enter>ボタン	サブメニューの表示/終了 の確認	値の確認
	<Down>ボタン	カーソルを下げる	値を下げる

2.5. 特殊ボタンおよびボタンの組み合わせ

ボタン	説明
<Enter> + 測定 1)	白色測定が実行されます。
<リセット>	メインメニューで[自動モード]機能があらかじめ選択されます。 すべての設定内容は維持されます。
<リセット> + <Enter> 2)	メインメニューで[自動モード]機能があらかじめ選択されます。 すべての設定内容は工場出荷時の状態にリセットされます。 基準値および許容値は維持されます。 キャリブレーションがリセットされるため、装置を再キャリブレーションする必要があります。
<Enter> (3 秒間押し 続ける)	機能の選択画面(メインメニュー)に戻ります。
<Enter> (10 秒間押し 続ける)	言語選択メニューが表示されます。

備考:










1) の操作手順:

- <Enter>ボタンを押します。
- 白色測定をします。
- <Enter>ボタンを解除します。

2) の操作手順:

- <リセット>ボタンを押します。
- <Enter>ボタンを押します。
- <リセット>ボタンを解除します。
- <Enter>ボタンを解除します。

2.6. アイコンおよびその機能

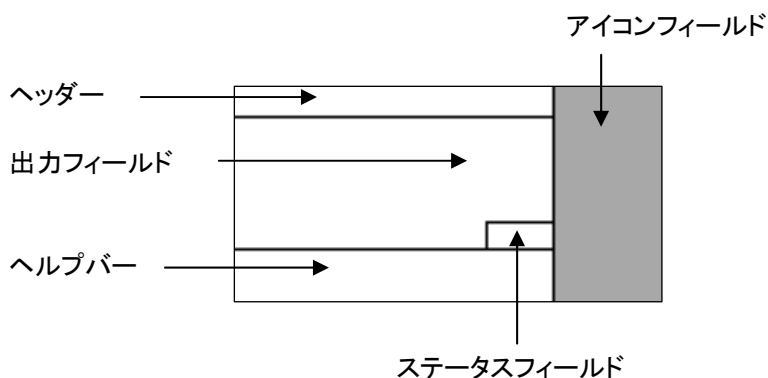
アイコン	名称	説明
	戻る	プログラムがメニューの次のレベルに進み、データを読み込みます。
	用紙	紙の白い部分または絶対白色値を測定します(キャリブレーション)。
	フィルターの選択	濃度フィルターを選択します(自動または手動)。
	基準値の選択	4つの基準値セットから1つを選択します。
	ベタ	ベタパッチの測定、およびベタ基準値の編集および測定を行いません。
	網点 1	1色目の網点値の測定、およびこの網点の基準値を編集します。
	網点 2	2色目の網点値の測定、およびこの網点の基準値を編集します。
	網点 3	3色目の網点値の測定、およびこの網点の基準値を編集します。
	グレイバランスパッチ	グレイバランスパッチの測定、あるいはグレイバランスの基準値の編集および測定をします。
	すべてのパッチ	[自動モード]機能であらゆるパッチを測定します。
	表示/編集モード	網点の測定値を表示および編集します。
	絶対/差異モード	絶対値または差異値に設定します。
	1色目のベタパッチ	1色目のベタパッチを測定します(トラッピング)。
	2色目のベタパッチ	2色目のベタパッチを測定します(トラッピング)。
	トラッピング	トラッピングパッチを測定します。
	ブラック	ブラック値を編集します(キャリブレーション)。
	シアン	シアン値を編集します(キャリブレーション)。
	マゼンタ	マゼンタ値を編集します(キャリブレーション)。
	イエロー	イエロー値を編集します(キャリブレーション)。
	Pass/Fail	Pass/Fail 表示をオンまたはオフにします。
	白色基準	白色基準を紙の白い部分または絶対白色に設定します。
	網点段階	印刷特性曲線の網点段階を設定します。
	小数桁	濃度表示の小数点以下の桁数を設定します。
	表示の回転	右利きまたは左利きユーザー向けに画面を反転させます。
	濃度計の種類	装置の種類についての情報を表示します。
	言語	言語を選択します。

2.7. 表示画面および Pass/Fail 表示

2.7.1. 表示画面のレイアウト

表示画面は次の入力フィールドで構成されます。

- ヘッダー → 基本機能名が表示されます。
- ヘルプバー → 特定機能のヘルプが表示されます。
- アイコンフィールド → 操作を示すアイコンがオプションおよびメニューとして表示されます。
- 出力フィールド → 測定結果が表示されます。
- ステータスフィールド → 次の内容を含むステータスメッセージが表示されます（フィールドのサイズは動的に変更されます）。
 - 差異表示のために選択された基準値セット
 - 自動、シアン、マゼンタ、イエローまたはブラックなどの、選択された濃度フィルター設定



2.7.2. メッセージボックス

メッセージボックスには、「白色測定終了」というメッセージやエラー・メッセージが表示されます。

2.7.3. Pass/Fail 表示

Pass/Fail 表示は濃度、ドットゲイン、グレイバランスなどに対して行なわれます。測定ヘッドの上部かつ表示画面の横の位置に、緑色と赤色の発光ダイオード(LED)で表示されます。Pass/Fail 表示は[機能の設定]でオン/オフにできます。

2.7.4. Pass/Fail 情報



- 濃度、ドットゲイン (DensiEye 700 に適用) およびグレイバランスの基準値と許容値によって、上矢印、チェックマークまたは下矢印のアイコンが測定結果の右側に表示されます。
- 測定値が、指定された許容範囲を下回る場合は、補正を促すために上矢印が表示されます。
- 測定値が、指定された許容範囲内の場合は、値の横にチェックマークが表示されます。
- 測定値が、指定された許容範囲を上回る場合は、補正を促すために下矢印が表示されます。

2.8. 機能の選択

- 利用したい機能は、<Up>/<Down>ボタンを使用してメインメニューであらかじめ選択できます。
- メインメニューで<Enter>ボタンを押すと、選択した機能のウィンドウが表示されます。
- ポップアップウィンドウで<Enter>ボタンを押すと、選択した設定が実行されます。

2.9. アイコンの選択

- 利用したいアイコンは、<Up>/<Down>ボタンを使用してあらかじめ選択できます。
- すでに前章で説明したアイコンの機能によっては、測定を開始するには、<Enter>ボタンを押さなければならない場合があります。

2.10. 位置決めおよび測定

- 印刷済みの用紙は、必ず安定した場所に置いてから測定して下さい。
- 透明の測定ダイアフラムを使用して、DensiEye を測定部分に置きます。
- 測定ヘッドを下げると測定ダイアフラムが引っ張られ、測定が開始します。
- 測定結果またはメッセージが表示されてから、測定ヘッドを持ち上げます。

3. 測定機能

3.1. 自動モード(DensiEye 700 に適用)



- このモードでは、ベタ、網点、トラッピングまたはグレイバランスのパッチが自動的に検出され、それぞれの測定値が表示されます。
 - [機能の設定]メニューで白色基準の設定が[自動絶対白]または[自動紙白]の場合には、紙白部分の自動測定が実行されます。
 - フィルター/カラー検出は、あらかじめ自動検出に設定されています。
 - [基準値]メニューで基準値をセットアップします。
- メインメニューで[自動モード]を選択します。
 - 現在の基準値セットがステータスフィールドに表示されます。
 - フィルター/カラーの自動検出を示す「A」がステータスフィールドに表示されます。
- [絶対/差異]アイコンを選択します。
 - 絶対測定を実行するには、[絶対]に設定します。
 - 出力フィールドに「D」が表示されます。
 - 差異測定を実行するには、[差異]に設定します。
 - 出力フィールドに「ΔD」が表示されます。
- 差異測定を実行するには、[基準値の選択]アイコンを選択します。
 - 基準値セットがポップアップウィンドウにリスト表示されます。
 - 基準値セットを1つ選択します。
 - 選択した基準値セットがステータスフィールドに表示されます。
- [用紙]アイコンを選択して、紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約1秒間表示されます。
- ベタを印刷順に従って測定します。
 - ベタ濃度および適切な色が測定され、測定値が出力フィールドの右から左に順番に表示されます。
 - ベタ濃度またはベタ濃度の差異値、および最後に測定されたパッチの適切な色が出力フィールドに表示されます。
- いずれかのパッチ(ベタ、網点、トラッピングまたはグレイバランス)を測定します。
 - 最後に測定されたパッチの測定結果が、出力フィールドに表示されます。
 - ベタ濃度またはベタ濃度の差異値、および適切な色。
 - 網点の基準値、ドットゲイン値および適切な色。
 - トラッピング値および適切な印刷順。
 - シアン、マゼンタおよびイエローの濃度値または濃度差異値。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.2. 濃度

3.2.1. 濃度 (用紙)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[用紙]または[自動紙白]に設定します。
- 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
- [基準値]メニューで基準値をセットアップします。

- メインメニューで[濃度]を選択します。
 - Pass/Fail 検出がオンまたは[絶対/差異]が[差異]に設定されている場合、現在の基準値セットがステータスフィールドに表示されます。
 - 現在のフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- [フィルターの選択]アイコンを選択します。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーの選択リストがポップアップウィンドウに表示されます。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーのいずれか 1 つを選択します。
 - 選択したフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- [絶対/差異]アイコンを選択します。
 - 濃度測定を実行するには、[絶対]に設定します。
 - 出力フィールドに「D」が表示されます。
 - 濃度差異値の測定を実行するには、[差異]に設定します。
 - 出力フィールドに「ΔD」が表示されます。

- 差異値を測定するには、[基準値の選択]アイコンを選択します。
 - 基準値セットがポップアップウィンドウにリスト表示されます。
 - 基準値セットを 1 つ選択します。
 - 選択した基準値セットがステータスフィールドに表示されます。

- [用紙]アイコンを選択して紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。

- ベタを測定します。
 - 濃度または濃度差異値、および適切な色が出力フィールドに表示されます。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.2.2. 濃度 (絶対)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[絶対]または[自動絶対白]に設定します。
 - 濃度計が絶対白色基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
 - [基準値]メニューで基準値をセットアップします。
-
- メインメニューで[濃度]を選択します。
 - Pass/Fail 検出がオンまたは[絶対/差異]が[差異]に設定されている場合、現在の基準値セットがステータスフィールドに表示されます。
 - 現在のフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

 - [フィルターの選択]アイコンを選択します。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーの選択リストがポップアップウィンドウに表示されます。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーのいずれか 1 つを選択します。
 - 選択したフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

 - [絶対/差異]アイコンを選択します。
 - 濃度測定を実行するには、[絶対]に設定します。
 - 出力フィールドに「D」が表示されます。
 - 濃度の差異測定を実行するには、[差異]に設定します。
 - 出力フィールドに「ΔD」が表示されます。

 - 差異値を測定するには、[基準値の選択]アイコンを選択します。
 - 基準値セットがポップアップウィンドウにリスト表示されます。
 - 基準値セットを 1 つ選択します。
 - 選択した基準値セットがステータスフィールドに表示されます。

 - ベタパッチを測定します。
 - 濃度または濃度差異値、および適切な色出力フィールドに表示されます。

 - [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.3. ドットゲイン(DensiEye 700 に適用)



- ドットゲインは、紙の白い部分を基準にした濃度計機能です。
 - 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
 - [基準値]メニューで基準値をセットアップします。
 - [基準値]メニューで網点の基準値をオフに設定することもできます。

- メインメニューで[ドットゲイン]を選択します。
 - 現在の基準値セットがステータスフィールドに表示されます。
 - 現在のフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- [フィルターの選択]アイコンを選択します。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーの選択リストがポップアップウィンドウに表示されます。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーのいずれか 1 つを選択します。
 - 選択したフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- 差異値を測定するには、[基準値の選択]アイコンを選択します。
 - 基準値セットがポップアップウィンドウにリスト表示されます。
 - 基準値セットを 1 つ選択します。
 - 選択した基準値セットがステータスフィールドに表示されます。

- [用紙]アイコンを選択して紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。

- ベタパッチを測定します。
 - ベタ濃度が出力フィールドに表示されます。

- 1 色目の網点を測定します(オフ設定されていない場合)。
 - ベタ濃度、1 色目の網点の基準値およびドットゲイン値が出力フィールドに表示されます。

- 2 色目の網点を測定します(オフ設定されていない場合)。
 - ベタ濃度、1 色目と 2 色目の網点の基準値およびドットゲイン値が出力フィールドに表示されます。

- 3 色目の網点を測定します(オフ設定されていない場合)。
 - 1 色目、2 色目および 3 色目の網点の基準値およびドットゲイン値が出力フィールドに表示されます。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.4. トラッピング (DensiEye 700 に適用)



- トラッピングは、紙の白い部分を基準にした濃度計機能です。
- 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- メインメニューで[トラッピング]を選択します。
 - 現在のフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- [フィルターの選択]アイコンを選択します。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーの選択リストがポップアップウィンドウに表示されます。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーのいずれか 1 つを選択します。
 - 選択したフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- [用紙]アイコンを選択して紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。

- 1 色目のベタパッチを測定します。
 - 1 色目のベタパッチの濃度が出力フィールドに表示されます。

- 2 色目のベタパッチを測定します。
 - 1 色目および 2 色目のベタパッチの濃度が出力フィールドに表示されます。

- トラッピングパッチを測定します。
 - 1 色目と 2 色目のベタパッチの濃度、および%トラッピングが出力フィールドに表示されます。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.5. グレイバランス

3.5.1. グレイバランス (用紙)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[用紙]または[自動紙白]に設定します。
 - 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
 - [基準値]メニューで基準値をセットアップします。
- メインメニューで[グレイバランス]を選択します。
 - Pass/Fail 検出がオンまたは[絶対/差異]が[差異]に設定されている場合、現在の基準値セットがステータスフィールドに表示されます。
 - [絶対/差異]アイコンを選択します。
 - グレイバランス測定を実行するには、[絶対]に設定します。
 - 出力フィールドに「DC」、「DM」および「DY」が表示されます。
 - グレイバランスの差異値の測定を実行するには、[差異]に設定します。
 - 出力フィールドに「ΔDC」、「ΔDM」および「ΔDY」が表示されます。
 - 差異値を測定するには、[基準値の選択]アイコンを選択します。
 - 基準値セットがポップアップウィンドウにリスト表示されます。
 - 基準値セットを 1 つ選択します。
 - 選択した基準値セットがステータスフィールドに表示されます。
 - [用紙]アイコンを選択して紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。
 - グレイバランスパッチを測定します。
 - シアン、マゼンタおよびイエローの濃度値または濃度差異値が出力フィールドに表示されます。
 - [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.5.2. グレイバランス（絶対）



- [機能の設定]メニューで白色基準を[絶対]または[自動絶対白]に設定します。
 - 濃度計が絶対白色基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
 - [基準値]メニューで基準値をセットアップします。
-
- メインメニューで[グレイバランス]を選択します。
 - Pass/Fail 検出がオンまたは[絶対/差異]が[差異]に設定されている場合、現在の基準値セットがステータスフィールドに表示されます。

 - [絶対/差異]アイコンを選択します。
 - グレイバランス測定を実行するには、[絶対]に設定します。
 - 出力フィールドに「DC」、「DM」および「DY」が表示されます。
 - グレイバランスの差異値の測定を実行するには、[差異]に設定します。
 - 出力フィールドに「ΔDC」、「ΔDM」および「ΔDY」が表示されます。

 - 差異値を測定するには、[基準値の選択]アイコンを選択します。
 - 基準値セットがポップアップウィンドウにリスト表示されます。
 - 基準値セットを 1 つ選択します。
 - 選択した基準値セットがステータスフィールドに表示されます。

 - グレイバランスパッチを測定します。
 - シアン、マゼンタおよびイエローの濃度値または濃度差異値が出力フィールドに表示されます。

 - [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.6. 網点面積(DensiEye 700 に適用)



- 網点面積は、紙の白い部分を基準にした濃度計機能です。
- 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- メインメニューで [網点面積] を選択します。
 - 現在のフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- [フィルターの選択] アイコンを選択します。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーの選択リストがポップアップウィンドウに表示されます。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーのいずれか 1 つを選択します。
 - 選択したフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

- [用紙] アイコンを選択して紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。

- ベタパッチを測定します。
 - ベタ濃度が出力フィールドに表示されます。

- 網点を測定します。
 - ベタ濃度および網点の網点面積が出力フィールドに表示されます。

- [戻る] アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

3.7. 印刷特性曲線(DensiEye 700 に適用)



- 印刷特性曲線は、紙の白い部分を基準にした濃度計機能です。
 - 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
 - [機能の設定]メニューで[網点段階]を設定します(例:10%)。
-
- メインメニューで[印刷特性曲線]を選択します。
 - 印刷特性曲線の空の図表が出力フィールドに表示されます。
 - 現在のフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

 - [フィルターの選択]アイコンを選択します。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーの選択リストがポップアップウィンドウに表示されます。
 - 自動フィルター/カラーまたは手動フィルター/カラーのいずれか 1 つを選択します。
 - 選択したフィルター/カラーがステータスフィールドに表示されます。

 - [用紙]アイコンを選択して紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。

 - ベタパッチを測定します。
 - ベタ濃度値が出力フィールドに表示されます。

 - 網点パッチを測定します(例:10%パッチ~90%パッチ)。
 - ベタ濃度、最後に測定された網点面積の基準値、適切な網点面積のサンプル値および印刷特性曲線が出力フィールドに表示されます。
 - 最後の測定が終了すると、ヘルプバーに「測定終了」と表示されます。

 - [表示/編集]アイコンを選択します。
 - 最後に測定された網点は、縦線でポイントされています。
 - 参照したい網点を選択して表示するには、<Up>/<Down>ボタンを押します。
 - 必要であれば網点を再測定します。
 - [表示/編集]モードを終了するには<Enter>ボタンを押します。

 - [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4. 基準値



- [機能の設定]メニューで白色基準を[用紙]または[自動紙白]、および、[絶対]または[自動絶対白]にそれぞれ設定します。
- 濃度計が紙白基準または絶対白色基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- メインメニューで[基準値]を選択します。
 - 現在の基準値セットがヘッダーに表示されます。
 - [基準値の選択]、[ベタ]、[網点 1~3](DensiEye 700 に適用)および[グレイバランス]アイコンがアイコンフィールドに表示されます。
 - [用紙]アイコンは、紙白基準が設定されている場合のみに表示されます。

4.1. 基準値セットの選択



- DensiEye には、6 つの基準値セットが用意されています。
- 各基準値セットには次のものが含まれます。
 - ベタ濃度基準値および許容値。
 - 網点基準値、ドットゲイン基準値およびドットゲイン許容値(DensiEye 700 に適用)。
 - グレイバランスの濃度基準値および許容値。
- [基準値の選択]アイコンを選択します。
 - 基準値セット 1 ~ 4 のいずれか 1 つを選択します。
 - 選択した基準値セットがヘッダーに表示されます。
 - 紙白基準が設定されている場合、[用紙]アイコンが選択されてヘルプバーに「紙白の測定」と表示されます。
- 紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが表示されます。

4.2. ベタ基準値



- 基準値は、紙白基準または絶対白色基準のいずれかです。
- 基準値は、編集または測定が可能です。
- 測定された基準値は、シアン、マゼンタ、イエローおよびブラックのベタ濃度基準値および許容値とともにテーブル表示されます。
- 基準値の編集または測定、および許容値の編集は、テーブル行を選択することによって色単位で実行できます。

4.2.1. ベタ基準値の測定(用紙)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[用紙]または[自動紙白]に設定します。
- 濃度計が用紙の紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
- [用紙]アイコンを選択し、紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。
- [ベタ]アイコンを選択します。
 - シアン、マゼンタ、イエローおよびブラックのベタ濃度基準値および許容値が出力フィールドにテーブル表示されます。
 - ベタ基準値を測定します。
 - 測定されたベタ濃度基準値が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.2.2. ベタ基準値および許容値の編集(用紙)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[用紙]または[自動紙白]に設定します。
- 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
- [ベタ]アイコンを選択します。
 - カーソルを、シアンのベタ濃度基準値および許容値に移動させます。
 - 編集ウィンドウまたは測定ウィンドウを表示します。
 - ベタ濃度基準値を編集または測定します。
 - ベタ濃度許容値を編集します。
 - 測定または編集されたベタ濃度基準値、および編集されたベタ濃度許容値が出力フィールドに表示されます。
- シアンに対して実行した前述の手順で、他の色を編集することができます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.2.3. ベタ基準値の測定(絶対)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[絶対]または[自動絶対白]に設定します。
- 濃度計が絶対白色基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- [ベタ]アイコンを選択します。
 - シアン、マゼンタ、イエローおよびブラックのベタ濃度基準値および許容値が出力フィールドにテーブル表示されます。
 - ベタ基準値を測定します。
 - 測定されたベタ濃度基準値が出力フィールドに表示されます。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.2.4. ベタ基準値および許容値の編集(絶対)




- [機能の設定]メニューで白色基準を[絶対]または[自動絶対白]に設定します。
- 濃度計が絶対白色基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- [ベタ]アイコンを選択します。
 - カーソルを、シアンのベタ濃度基準値および許容値に移動させます。
 - 編集ウィンドウまたは測定ウィンドウを表示します。
 - ベタ濃度基準値を編集または測定します。
 - ベタ濃度の許容値を編集します。
 - 測定または編集されたベタ濃度基準値、および編集されたベタ濃度許容値が出力フィールドに表示されます。

- シアンに対して実行した前述の手順で、他の色を編集することができます。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.3. 網点およびドットゲイン(DensiEye 700 に適用)

-  • 網点基準値、ドットゲイン基準値および許容値は編集可能です。

- [網点 1]、[網点 2]または[網点 3]アイコンのいずれか 1 つを選択します。
 - シアン、マゼンタ、イエローおよびブラックの網点基準値、ドットゲイン基準値およびドットゲイン許容値が出力フィールドにテーブル表示されます。

- 確認します。
 - カーソルを、網点面積基準値、ドットゲイン基準値およびドット許容値に移動させます。
 - 編集ウィンドウを表示します。
 - 網点面積基準値を編集します。
 - ドットゲイン基準値を編集します。
 - ドットゲイン許容値を編集します。

- シアンに対して実行した前述の手順で、他の色を編集することができます。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.4. グレイバランス



- 基準値は、紙白基準または絶対白色基準のいずれかです。
- 基準値は、編集または測定が可能です。
- 測定された基準値は、シアン、マゼンタおよびイエローのベタ濃度基準値および許容値とともにテーブル表示されます。
- 基準値の編集または測定、および許容値の編集は、テーブル行を選択することによって色単位で実行できます。

4.4.1. グレイバランス基準値の測定(用紙)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[用紙]または[自動紙白]に設定します。
- 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。
- [用紙]アイコンを選択し、紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。
- [グレイバランス]アイコンを選択します。
 - シアン、マゼンタおよびイエローのグレイバランスの濃度基準値および許容値が出力フィールドにテーブル表示されます。
 - グレイバランス基準値を測定します。
 - 測定されたグレイバランス濃度基準値が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.4.2. グレイバランスの基準値と許容値の編集(用紙)



- [機能設定]メニューで白色基準を[用紙]または[自動紙白]に設定します。
- 濃度計が紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- [グレイバランス]アイコンを選択します。
 - カーソルを、シアン、マゼンタ、イエローのグレイバランスの濃度基準値および許容値に移動させます。
 - 編集ウィンドウまたは測定ウィンドウを表示します。
 - グレイバランスの濃度基準値を編集または測定します。
 - グレイバランスの許容値を編集します。
 - 測定または編集されたグレイバランス濃度基準値、および編集されたグレイバランス濃度許容値が出力フィールドに表示されます。
- シアンに対して実行した前述の手順で、他の色を編集することができます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.4.3. グレイバランス基準値の測定(絶対)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[絶対]または[自動絶対白]に設定します。
- 濃度計が絶対紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- [用紙]アイコンを選択し、紙の白い部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。
- [グレイバランス]アイコンを選択します。
 - シアン、マゼンタおよびイエローのグレイバランスの濃度基準値および許容値が出力フィールドにテーブル表示されます。
 - グレイバランス基準値を測定します。
 - 測定されたグレイバランス濃度基準値が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

4.4.4. グレイバランスの基準値と許容値の編集(絶対)



- [機能の設定]メニューで白色基準を[絶対]または[自動絶対白]に設定します。
- 濃度計が絶対紙白基準にキャリブレイトされていることを確認して下さい。

- [グレイバランス]アイコンを選択します。
 - カーソルを、シアン色のグレイバランスの濃度基準値および許容値に移動させます。
 - 編集ウィンドウまたは測定ウィンドウを表示します。
 - グレイバランス濃度基準値を編集または測定します。
 - グレイバランス濃度許容値の編集ウィンドウを表示します。
 - グレイバランス許容値を編集します。
 - 測定または編集されたグレイバランス濃度基準値、および編集されたグレイバランス濃度許容値が出力フィールドに表示されます。

- シアンに対して実行した前述の手順で、他の色を編集することができます。

- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

5. キャリブレーション

5.1. キャリブレーション(紙白基準)



- グラフィック業界では、紙白基準を使用した測定方法が好まれています。この方法では、すべての測定結果が紙の白い部分に関連付けられます。
- キャリブレーションの確認を月に1回実行し、必要に応じて装置を再キャリブレートして下さい。
- 正確な測定を実行するには、DensiEye を適切なキャリブレーション基準値でキャリブレートする必要があります。
- キャリブレーションカードの濃度基準およびフィルターの種類は、装置の種類についての情報と一致していなければなりません。

5.1.1. 紙白基準の選択

- メインメニューで[機能の設定]を選択します。
- [白色基準]アイコンを選択します。
 - 現在の設定が出力フィールドに表示されます。
- ポップアップウィンドウを表示します。
- 白色基準を[用紙]または[自動紙白]に設定します。
 - 確定した設定が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。



5.1.2. キャリブレーション(用紙)

- メインメニューで[キャリブレーション]を選択します。
- キャリブレーションカードの紙白部分を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。
- キャリブレーションカードのブラック、シアン、マゼンタおよびイエローのベタパッチをそれぞれ測定します。
- ブラックの編集ウィンドウを表示します。
 - 濃度値を編集します。
- ブラックに対して実行した前述の手順で、すべての色の濃度値を編集できます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

5.1.3. キャリブレーションの確認(用紙)

- メインメニューで[濃度]を選択します。
- [用紙]アイコンを選択します。
- キャリブレーションカードの紙白を測定します。
 - メッセージボックスに「白色測定終了」というメッセージが約 1 秒間表示されます。
- キャリブレーションカードのブラック、シアン、マゼンタおよびイエローのベタパッチをそれぞれ測定します。
 - 基準値と測定値の濃度偏差は ± 0.01 以内でなければなりません。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

5.2. キャリブレーション(絶対白色基準)



- 白色基準として絶対白色を使用することが指定されている場合は、絶対白色基準を使用して測定する必要があります。
- この測定方法では、濃度およびグレイバランスの測定結果が絶対白色に関連付けられます。
- この測定方法では、キャリブレーションの確認を週に 1 回、または周辺温度が 10° C/50° F 以上変化した場合に実行して下さい。また、必要に応じて装置を再キャリブレーションして下さい。
- キャリブレーションカードの濃度基準およびフィルターの種類は、装置の種類についての情報に一致していなければなりません。

5.2.1. 絶対白色基準の選択

- メインメニューで[機能の設定]を選択します。
- [白色基準]アイコンを選択します。
 - 現在の設定が出力フィールドに表示されます。
- ポップアップウィンドウを表示します。
- 白色基準を[絶対]または[自動絶対白]に設定します。
 - 選択された設定が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。



5.2.2. キャリブレーション(絶対)

- メインメニューで[キャリブレーション]を選択します。
- キャリブレーションカードのホワイトパッチを測定します。
- キャリブレーションカードのブラック、シアン、マゼンタおよびイエローのベタパッチをそれぞれ測定します。
 - 測定値が表示されます。
- ブラックの編集ウィンドウを表示します。
 - ブラックのホワイト値を、キャリブレーションカードの値に合わせて編集します。
 - ブラック濃度値を、キャリブレーションカードの値に合わせて編集します。
- ブラックに対して実行した前述の手順で、すべての色の測定値を編集できます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

5.2.3. キャリブレーションの確認(絶対)

- メインメニューで[グレイバランス]を選択します。
- キャリブレーションカードのホワイトパッチを測定します。
 - ホワイト基準値とシアン、マゼンタおよびイエローの測定値の濃度偏差は ± 0.01 以内でなければなりません。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。
- メインメニューで[濃度]を選択します。
- キャリブレーションカードのホワイトパッチを測定します。
 - ホワイト基準値とブラック測定値の濃度偏差は ± 0.01 以内でなければなりません。
- キャリブレーションカードのブラック、シアン、マゼンタおよびイエローのベタパッチをそれぞれ測定します。
 - 各色の基準値と測定値の濃度偏差は ± 0.01 以内でなければなりません。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

5.3. 濃度キャリブレーション基準値



- X-Rite キャリブレーションカードは、有効期限まで利用可能です。
- X-Rite キャリブレーションカードは、乾燥した場所ではカバーに入れて保管して下さい。
- キャリブレーション部分を傷つけたり汚したりしないで下さい。
- キャリブレーション部分の汚れは、やわらかい布で拭くだけにして下さい。

DENSITY CALIBRATION REFERENCE

	Paper		Absolute	
	white	color	white	color
B	0.00	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
C	0.00	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
M	0.00	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Y	0.00	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
white	<input type="text"/>		<input type="text"/>	

Type:

Density Standard:

Filter:

Part Number:

Serial Number:

Expiration Date:

Part Number 241773-14

6. 設定

6.1. 機能の設定

- メインメニューで[機能の設定]を選択します。
 - [Pass/Fail]、[白色基準]、[網点段階]および[小数桁]アイコンがアイコンフィールドに表示されます。

6.1.1. Pass/Fail 表示



- Pass/Fail 表示はオンまたはオフに切り替えができます。
 - 測定値が許容範囲内であれば緑色のランプがつきます。
 - 測定値が許容範囲を超えている場合は赤色のランプがつきます。
-
- [Pass/Fail]アイコンを選択します。
 - 現在の設定が出力フィールドに表示されます。
 - ポップアップウィンドウを表示します。
 - Pass/Fail 表示をオンまたはオフに切り替えています。
 - 確定した設定が出力フィールドに表示されます。
 - [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

6.1.2. 白色基準



- 白色基準は、用途に応じて、[用紙]または[自動紙白]、および、[絶対]または[自動絶対白]にそれぞれ選択可能です。
 - [自動紙白]では、自動モードの場合に限り、紙白部分の自動測定が実行されます。
 - 白色基準[自動紙白]は、白色基準[用紙]に対応します。
 - [自動絶対白]では、自動モードの場合に限り、ドットゲインおよびトラッピングに対して紙白部分の自動測定が実行されます。
 - 白色基準[自動絶対白]は、白色基準[自動]に対応します。
-
- [白色基準]アイコンを選択します。
 - 現在の設定が出力フィールドに表示されます。
 - ポップアップウィンドウを表示します。
 - 白色基準には[絶対]、[用紙]、[自動絶対白]、[自動紙白]のいずれか 1 つを設定します。
 - 確定した設定が出力フィールドに表示されます。
 - [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

6.1.3. 網点段階 (DensiEye 700 に適用)



- 印刷特性曲線を測定する前に、網点段階に関連する設定を行なう必要があります。
- [網点段階]アイコンを選択します。
 - 現在の設定が出力フィールドに表示されます。
- ポップアップウィンドウを表示します。
- 印刷特性曲線の網点段階(5% … 50%)を設定します。
 - 確定した設定が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

6.1.4. 小数桁



- 濃度表示する小数点以下の桁数を 2 桁または 3 桁に設定できます。
- [小数桁]アイコンを選択します。
 - 現在の設定が出力フィールドに表示されます。
- ポップアップウィンドウを表示します。
- 小数点以下の桁数を 2 桁または 3 桁に設定します。
 - 確定した設定が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

6.2. 装置の設定

- メインメニューで[装置の設定]を選択します。
 - [表示の回転]、[装置の種類]および[言語]アイコンがアイコンフィールドに表示されます。

6.2.1. 表示の回転



- 表示画面上の情報を、右利きまたは左利きのユーザーに合わせて反転表示できます。
- [表示の回転]アイコンを選択します。
 - 現在の設定が出力フィールドに表示されます。
- 右利き用または左利き用に画面表示を反転します。
 - 確定した設定が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

6.2.2. 装置の種類



- 装置の種類、ファームウェアのバージョン、シリアル番号、濃度計の標準およびフィルターなど、装置に関する重要な情報が表示されます。
- [装置の種類]アイコンを選択します。
 - 装置の種類に関する以下の情報が出力フィールドに表示されます。

▪ 種類:	装置の種類
▪ ファームウェア:	ファームウェアのバージョン
▪ S/N:	シリアル番号
▪ 標準:	濃度計の標準 (ISO E、ISO I または ISO T)
▪ フィルター:	Pol または No (偏光 または 非偏光)
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

6.2.3. 言語



- テキストを異なる言語で表示できます。
- [言語]アイコンを選択します。
 - 現在の言語設定が出力フィールドに表示されます。
- ポップアップウィンドウを表示します。
- 言語を選択します。
 - 確定した言語が出力フィールドに表示されます。
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

7. USB インターフェイス

7.1. USB ドライバのインストール

手順:

- DensiEye アプリケーション CD を CD ドライブに挿入します。
- DensiEye を USB ケーブルでコンピュータに接続します。
- MS ウィンドウズのプラグアンドプレイが起動し、ドライバの場所を入力するよう求められます。
- CD ドライブを選択します。
- 関連ウィンドウで確定すると、ドライバがインストールされます。



- USB インターフェイスは COM ポートとして使用できるため、シリアルインターフェイスとしても利用できます。

割り当てられた COM ポートの変更は、次のようにウィンドウズの[デバイスマネージャ]のプロパティシートで行なえます。

- [コントロールパネル]の[システム]を選択します。
- [システムのプロパティ]で[ハードウェア]を選択します。
- [デバイスマネージャ]を選択します。
- [デバイスマネージャ]の[デバイス(種類別)]を選択します。
- [ポート(COMとLPT)]を選択します。
 - [USBシリアルポート]を選択します。
 - [プロパティ]をクリックします。
 - [ポートの設定]タブを選択します。
 - [詳細設定]をクリックします。
 - 使用したい[COMポート番号]をリストから選択します。
 - [OK]をクリックします。

7.2. USB インターフェイスのプロトコル

この装置からは、測定結果が外部ホストに自動的に報告されます。報告ストリングは ASCII テキスト形式で、キャリッジリターン<CR>およびラインフィード<LF>(それぞれ ASCII 13 および ASCII 10)で区切られています。

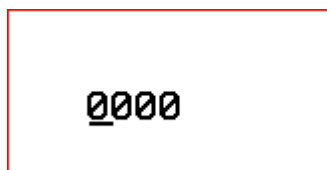
詳細は、DensiEye Data Interface Description を参照して下さい。

8. DensiEye 100 から 700 へのアップグレード

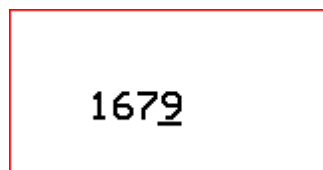
DensiEye 100 は、特別な4桁のコードを入力することによって、DensiEye 700 の機能にアップグレードすることが可能です。アップグレードコードに関しては、販売店までお問い合わせください。

アップグレード手順

- <RESET> ボタンを押し下げます。
- <DOWN> ボタンを押し下げます。
- <RESET> ボタンを離します。
- <DOWN> ボタンを離します。
 - これで DensiEye はプログラミングモードに入ります。ディスプレイには 0000 と表示されます。



0000



1679

- <UP> および <DOWN> ボタンで最初の桁の数値を設定します。
- <ENTER> ボタンを押して、カーソルを次の桁に移動します。
- すべての桁が入力されるまで手順 5 および 6 を繰り返します。
- 最後の桁が設定された後、追加された機能が使用可能になり、メインメニューから選択することができます。

9. メンテナンスとお手入れ

9.1 リセット



マクロプロセッサが機能しなくなった場合(例: バッテリー交換後やその他の障害が発生した場合)は、<リセット>ボタン(測定ヘッドの下側にある赤いボタン)を押して下さい。リセットをすると、DensiEye のステータスは次のようになります。

- メインメニューで自動モード(DensiEye 700)または濃度機能(DensiEye 100)が選択されている。
- すべての設定が維持されている。

手順:

- <リセット>ボタンを約 3 秒間押し続けます。

9.2 完全リセット



完全リセットをすると、DensiEye のステータスは次のようになります。

- メインメニューで自動モード(DensiEye 700)または濃度機能(DensiEye 100)が選択されている。
- すべての設定が工場出荷時の設定にリセットされる。
- 基準値および許容値が維持されている。
- キャリブレーションがリセットされる。
- 装置を再キャリブレートする必要がある。

手順:

- <リセット>ボタンを押します。
- <Enter>ボタンを押します。
- <リセット>ボタンを解除します。
- <Enter>ボタンを解除します。

9.3 装置の種類についての情報



技術的な質問がある場合は、装置の種類、シリアル番号およびファームウェアバージョンを必ずお知らせ下さい。

手順:

- メインメニューで[装置の設定]を選択します。
- [装置の種類]アイコンを選択します。
 - 装置の種類についての情報が出力フィールドに表示されます。

▪ 種類:	装置の種類
▪ ファームウェア:	ファームウェアのバージョン
▪ S/N:	シリアル番号
▪ 標準:	濃度標準 (ISO E、ISO I または ISO T)
▪ フィルター:	Pol または No (偏光 または 非偏光)
- [戻る]アイコンを選択すると、メインメニューに戻ります。

9.4 バッテリー交換



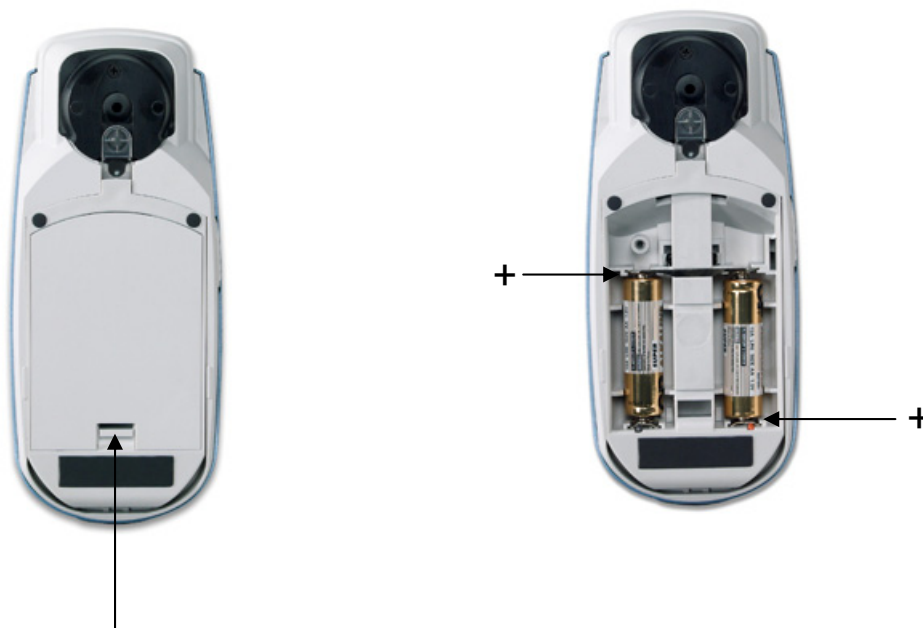
- 通常、測定を 50 万回実行した後にバッテリーを交換する必要があります。
- DensiEye ではバッテリー電圧が監視されているため、バッテリー交換の必要が近づくと、ヘッドラインにバッテリーマークが表示されます。



- このマークが表示されたら、できるだけ早くバッテリー交換して下さい。

手順:

- バッテリーカバーを取り外します。
- 2つの古いバッテリーを取り出します。
- 新しいバッテリーを、向きを確認しながら入れます。
(バッテリーの向きおよび取り付け位置は、バッテリー格納場所に図示されています)
- バッテリーカバーを閉めます。
- 古いバッテリーは規制に従って廃棄して下さい。
- <リセット>ボタンを押します。



ここを押すとカバーが開きます。



- バッテリーは常に 2 つを同時交換して下さい。
- 装置を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外して下さい。

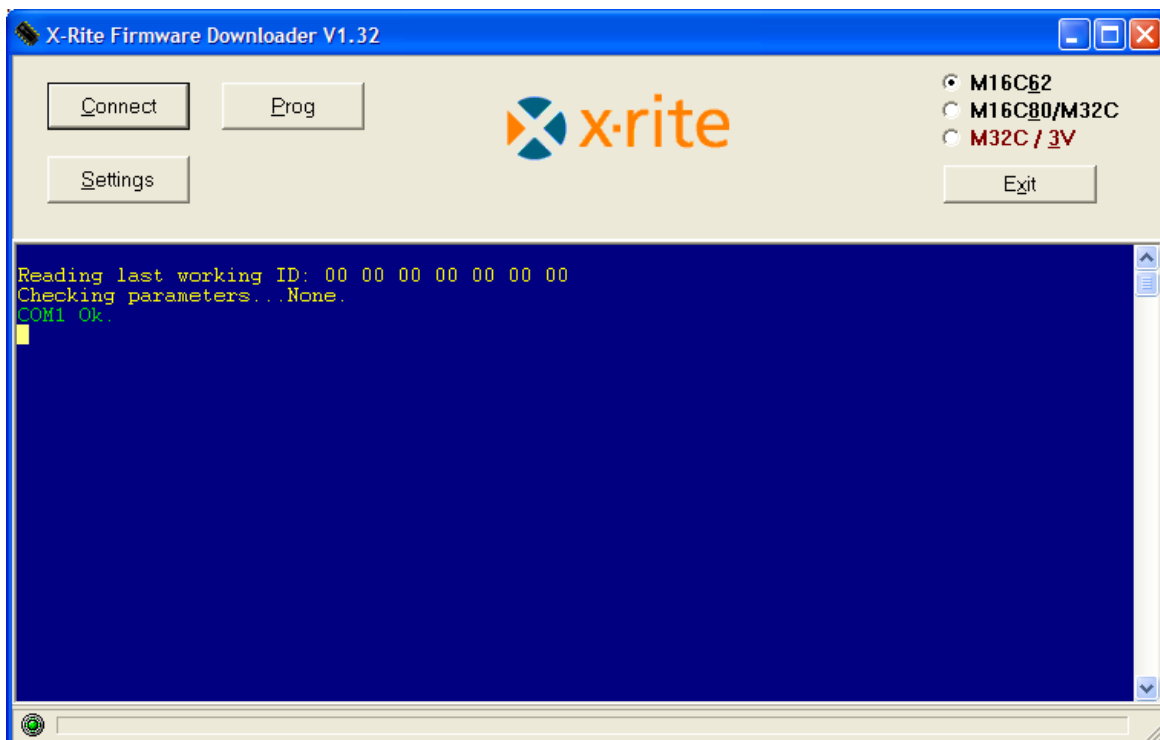
9.5. ファームウェアのアップグレード

準備するもの:

- ダウンロード用ソフトウェア X-Rite Firmware Downloader
- DensiEye ファームウェア
- USB ケーブル

手順:

- DensiEye をデータケーブルで接続します。
- <リセット> ボタンを押し続けます。
- <Up> ボタンを約 0.5 秒押します。
- <リセット> ボタンを解除します。
- DensiEye がプログラミングモード(画面が空の状態)になります。
- ダウンロード用ソフトウェア X-Rite Firmware Downloader を起動します。
- メニューの[設定]で COM ポートを選択します。
- [接続]を選択します。
- [プログラム]を選択してからファームウェアファイルを選択します。ファームウェアが数秒でダウンロードされます。
- [ダウンロード用ソフトウェア]のウィンドウを閉じて終了します。
- <リセット> ボタンを短時間押します(約 0.5 秒間)。
- ケーブルを取り外します。



9.6. 保証登録



- テクニカルサポートを受けるには、新たに購入された DensiEye を登録する必要があります。
- DensiEye の登録は、登録カードに必要事項を記入して返送して頂くか、<http://www.xrite.com> でオンライン登録して頂けます。

X-Rite のエンドユーザー保証書

X-Rite は、本製品に対して X-Rite からの出荷日から 12 ヶ月の構成および製造の保証を提供します。保証期間内は欠陥部品を無償で交換または修理いたします。

X-Rite の保証は、次から発生する保証製品の欠陥を除きます。(i) 出荷後の損害、事故、乱用、誤使用、放置、変更等の X-Rite の推奨、付属書類、公表仕様、業界基準に沿わない使用。(ii) 推奨される仕様以外の操作環境における装置の使用、または X-Rite が提供する保守手順書や公表仕様に準拠しない場合。(iii) X-Rite または認定された会社以外による修理またはサービス。(iv) X-Rite より製造、流通、承認されていない部品や消耗品の使用により発生した保証製品の欠陥。(v) X-Rite より製造、流通、承認されていない付属品または修正が保証製品に追加された場合。また、消耗品および製品の手入れは保証に含まれません。

上記保証の破損に対する X-Rite の限定義務は、いかなる部品の無償修理または交換とし、保証期間内に欠陥品と証明され、かつ X-Rite が合理的に納得できるものに限りです。X-Rite による修理または交換により保証期間は回復されず、また保証期間は延長されません。

X-Rite より指定されたサービスセンターに欠陥製品を送付される際は、梱包および郵送はお客様の自己負担となります。製品の返送費用は、X-Rite のサービスセンターが担当する地域のみ、X-Rite が負担いたします。指定地域外の場合、郵送料、関税、税金等の全ての費用はお客様の自己負担となります。保証期間中にサービスをお受けになる場合は、領収書などの購入日を証明する記録が必要です。本製品は絶対に分解しないでください。ユーザーにより分解された場合、製品保証は無効となります。装置が作動しない、あるいは正しく機能しないと思われる場合は X-Rite の東京サービスセンターまでお問い合わせください。

これらの保証は購入者にのみ適用されるもので、暗示・明示を問わず、市販性、特定目的や用途への適合性、非侵害性の暗示された保証を含む、またそれに限らず他の保証すべてに代わるものです。X-Rite の経営陣以外の社員または代理店は、前述以外のいかなる保証も提供することが承認されていません。

X-Rite はお客様の製造コスト、経常経費、利益の損失、信用、その他の費用、および契約いかなる保証の破損、過失、不正行為、その他の法理による間接的、特別、付随的、重要な他の損害に責任を負いません。いかなる場合においても、これによる X-Rite の責任は、X-Rite が供給した商品またはサービスの価格を上限とします。

9.7. 証明書の更新



- X-Rite は、DensiEye 反射濃度計の証明書を毎年更新することをお勧めします。
- 照明書の更新方法については、X-Rite 販売代理店または最寄りの X-Rite サービスセンターにお問い合わせ下さい。

9.8. サービス



- いかなる状況でも、X-Rite DensiEye の修理を自分で行なわないで下さい。
- 装置を許可なく開けた場合は、その時点で品質保証の対象外になります。
- 装置に障害が発生したり、正常に機能しなくなった場合は、X-Rite サポートまたは最寄りの X-Rite サービスセンターにお問い合わせ下さい。

10. 仕様

10.1. 機能

- カラーの自動選択 (CMYK)
- パッチの種類自動選択 (ベタ、網点、トラッピング、グレイバランス) (DensiEye 700 に適用)
- 紙白部分の自動測定
- 濃度、濃度差
- ドットゲイン (シャドウ、中間、ハイライト) (DensiEye 700 に適用)
- トラッピング (DensiEye 700 に適用)
- グレイバランス、グレイバランスの差
- 網点面積 (マレイデイス) (DensiEye 700 に適用)
- 印刷特性曲線 (DensiEye 700 に適用)

- 補正アドバイスを含む Pass/Fail 表示
- 基準値セット (定義済みだがカスタマイズが可能)
- 濃度キャリブレーション

- 絶対白色基準および紙白基準への設定が可能

10.2. 技術仕様

	仕様
受光部	3 LED (赤色、緑色、青色)
光学系	45° / 0° (DIN 5033 準拠)
測定アパーチャー	3mm または 1.6mm (工場出荷時)
濃度標準	ISO ステータス I/E/T (ISO 5-3 準拠) (工場出荷時)
偏光フィルター	有り/無し (工場出荷時)
測定範囲	0.00 – 3.00 D
再現性	± 0.01 D または ± 1%
計器間誤差	± 0.02 D または ± 2%
リニアリティー	± 0.01 D または ± 1%
測定時間	0.5 秒
グラフィカル表示	160 x 80 ピクセル、4 種類のグレイスケール
インターフェイス	USB
バッテリー1組の測定可能回数	50 万回以上
電源	1.5 V サイズ AA のアルカリ電池 2 本
寸法 (mm)	50 x 75 x 175
重量 (g)	400



ビデオジェット・エックスライト株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田2-30-4 BR 五反田7F

Tel (03) 6825-1641

Fax (03) 5436-1616

エックスライト社 米国本社

米国ミシガン州グランドラピッズ

Tel (+1) 616 803 2100

Fax (+1) 616 803 2705

エックスライト社 ヨーロッパ

スイスレーゲンズドルフ

Tel (+41) 44 842 24 00

Fax (+41) 44 842 22 22

各地域のお問い合わせ先は www.xrite.com でご覧いただけます。